

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

教育部生涯学習課

教育部長 岩橋 平武

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
28-002	社会教育審議会費	なし	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、愛知県社会教育委員連絡協議会等が主催する講演会、研修会等が中止になった。そのため、社会教育委員の資質向上の面で当初計画に及ばない事業実績となったものの、令和元年度から行っていた「コミュニティ・スクール」をテーマとした調査・研究については、年4回の社会教育審議会を通じて議論を深め、教育委員会への提言につなげることができた。	現状維持	社会教育を幅広く捉え、既成の概念にとらわれることなく、誰もがいつまでも学ぶことができる環境を整え、教育が自分づくり、人づくり、まちづくりにつながるような提言を行っていく。
28-003	文化振興事業	なし	C	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の大半を中止することとなり、また各種大会の中止に伴い激励金の支給も大幅に減少するなど、当初予定していた事業展開とはならなかったが、外部から文化芸術分野の有識者を招き助言等いただくなど、各種文化振興事業の在り方を見直すと共に、今後の新たな施策を検討することができた。	拡充推進	文化振興計画の策定に伴い、既存事業、新規事業を含め改めて本市における文化芸術の在り方を見直し、新たなビジョンと共に文化振興施策を展開していく。
28-004	美術展開催事業	なし	C	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、美術展の開催そのものを年度の早い段階で中止としたが、新たな出品者の獲得や来場者数の増加といったこれまで課題としてきたことについては美術展運営委員と議論を深め、次年度の開催時に新たに組み込む内容について整理した。	改善推進	これまで70年以上守られてきた伝統を守りつつ、その内容を少しずつ変容させながら新たな担い手となる若者層へのアプローチを積極的に図っていききたい。具体的には美術展における作品展示や各部門が実施する講座のみならず、芸術体験講座や演奏会など併催イベントを実施することで新たな出品者・来場者の掘り起こしを行っていききたい。
28-005	音楽文化振興事業	あり	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大規模コンサート(ガラコンサート)はやむなく中止としたが、その他の各種事業は募集人数を半数にするなど感染症対策を施した上で実施した。普段コンサートや演奏会に参加することが難しい乳幼児をもつ親子を対象にした「量でコンサート」の個別事業としての認知度は32.1%と低かったが、事業全体の認知度・満足度はともに高い水準となった。こうした結果から、今後「音楽のあるまちはんだ」をより浸透させるために、対象を絞り幅広く事業を展開していく。保育園・幼稚園の演奏会や小学校のアウトリーチは教育的効果、満足度ともに高く、中学校のワークショップ事業についても中学校吹奏楽部の演奏技術の向上に資することができた。	改善推進	今後も音楽文化になじみがない市民に音楽文化振興事業を通して音楽の魅力や楽しさを届け続けることで、本市が目指す音楽のあるまちづくりにつなげていく。
28-006	成人式運営事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症の影響により式典の開催中止を危惧したが、新成人による実行委員(10人)が主体となり、午前・午後の2部制、式典時間の短縮、会場内の指定席化等開催方法の見直しを図り、開催することができた。新型コロナウイルスの影響で目標とする参加率の達成はおろか、式典への参加率の大幅な低下を心配したが、例年並みの参加率を確保できた。	改善推進	民法改正に伴う成人年齢の引き下げにより、令和4年度以降の成人式をどう扱っていくかということについて近隣市町や全国各地の動向を注視し、実施内容や方法について検討していく。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
28-007	生涯学習推進事業	なし	C	学びと出会う場所を提供すると同時にゲストティーチャーの活躍の場を増やすことを目的としたまなびとゼミについては、新型コロナウイルスの影響もあり、企画した講座が一部中止となったが、募集人数を半数にするなど感染症対策を施して実施することができた。 また、新型コロナウイルス感染症の影響や高齢のため、ゲストティーチャーへの登録を辞退する件数が増え制度の今後のあり方に課題は残したが、新規登録する方も8名いた。	改善 推進	在宅でも受講可能な生涯学習講座や、親子向け講座、若者を対象とした講座の開設など、市民のニーズにあった学びの場の提供を推進していく。 また、ゲストティーチャー制度の活用促進を図るため、まなびとゼミに限らず、ゲストティーチャーの魅力を十分に発揮できる企画を設定し、次世代につながっていく。
28-010	公民館管理運営事業	あり	C	新型コロナウイルス感染症拡大により年度当初休館していたこと、また感染症予防の観点から施設の利用制限や事業の開催自粛などを行っていたことなどから、公民館稼働率・ふれあい事業参加者数は目標を大きく下回った。 令和2年度はコロナ禍での安心・安全な施設利用への対応を優先した結果、課題としている高齢者だけではなく、若い世代を取り込めるような魅力ある公民館事業の展開に注力できなかった。	改善 推進	地域住民が気軽に足を運べる公民館づくりを念頭に、各公民館ごとに地域の特色を生かした幅広い年齢層向けの事業を開催する。
28-011	岩滑公民館改築等事業	あり	B	岩滑公民館を主に利用する地元の方の意見を反映させるため、岩滑区の代表者、岩滑公民館の職員その他、実際にこれまで同公民館を利用してきた団体等と設計業者を交え、公民館の将来像等について何度も意見を交換し、最終的には利用形態にあった形の実施設計を完成させることができた。	改善 推進	令和2年度に完成した実施設計をもとに令和3年度、令和4年度で現公民館の解体工事や新公民館の建設工事を行うが、新公民館の管理運営等について、地元の方たちと方向性を見出していく。
28-012	明るい青少年都市推進事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、明るい青少年都市推進本部として他の行政機関や家庭・学校・地域と連携して、街頭啓発活動を実施することはできなかったが、子ども110番の家に協力いただいている施設等に出向き、プレートの貼り換えをはじめ最近の地域の情報を共有しながら子どもたちの安全を見守ることはできた。また、少年を守る会が行う親子ふれあい事業等は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できないケースもあったが、それ以外の青少年に関わる活動・事業は補助金を通して支援することができた。	改善 推進	引き続き家庭・学校・地域のほか警察や関係機関と連携し、青少年の非行や犯罪を未然に防ぐ。社会情勢の変化による青少年の行動パターンに対応していくため、少年を守る会のあり方や青少年健全育成活動補助金の見直しを行い、新たな施策展開につなげていく。
28-013	空の科学館、体育館管理運営事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症の影響で休館や入場制限等を行ったため、利用者数は減少したが、感染症対策を施した上で、特別展示として子どもも大人も楽しめる体験型の企画展や展示会、子どもの工作教室やプログラミング体験教室講座を開催し、子どもたちに学ぶ機会を提供することができた。プラネタリウムでは学習投影、大人向け・子ども向けの投影を実施することにより、幅広い年齢層に対する利用者の拡大を図った。なお、毎年度3月に施設利用の満足度調査としてアンケートを行っているが、施設に対しての具体的な要望や提案を聞く調査項目へと変更したため、単によかったかどうかの満足度の指標を確認することができなかった。	改善 推進	施設の設置目的を念頭にしつつ、アンケート等により来館者・利用者のニーズを把握し、サービス向上と効率化の運営に向け指定管理者と協議し、指定管理者制度のメリットを活かしていく。 また、幅広い年代の市民が興味を持つイベントを企画することで、新規来館者の確保を図る。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
28-016	福祉文化会館管理 運営事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月と5月は臨時休館(ホールと講堂は6月まで利用中止)した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の利用人数を定員の半数に制限したことにより、文化会館、中央公民館、福祉センターの利用人数は前年度と比較して減少した。また、利用可能な期間の稼働率は、ホール(10月から3月まで舞台機構更新工事のため利用中止)が32.2%、講堂が49.2%となった。 なお、令和2年度は、駐車場整備工事や舞台機構更新工事などを実施して利用環境を整備することができた。	改善 推進	半田市福祉文化会館は築30年以上経過しており、老朽化対策が課題になっている。令和2年度に策定した「半田市福祉文化会館長寿命化計画」に基づき、予防保全による施設改修を行い、計画的な修繕により、施設の長寿命化を図る。
28-019	乙川交流センターニ コパル管理運営事 業	なし	C	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月と5月は臨時休館した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、施設の利用人数を定員の半数に制限したことにより、利用人数は前年度と比較して減少した。なお、利用可能な期間の多目的ホールの稼働率は、43.0%となった。	改善 推進	今後も地域住民の生涯学習の活動拠点及び住民相互の交流の場とするため、引き続き乙川スポーツクラブと地元区長会と連携した共催事業を行うことにより、市民の利用の促進を図る。また施設利用者が安全、快適に利用できるように管理運営に努める。
課等長	1次評価(令和2年度の総括評価)					
C	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、所管する施設の利用者数や稼働率に大きな落ち込みがみられた。年度当初は臨時休館等の措置をとったが、その後は各施設ごとに感染症対策を整え、利用者が安心・安全に利用できる施設管理を行った。また、美術展をはじめとした文化振興に係る各種イベントや生涯学習講座等についても、やむなく中止の判断を下したのもあったが、施設管理同様、年度中盤以降は感染症対策を施した上でどう開催できるかという視点で事業実施に取り組んだ。次年度以降は新型コロナウイルス感染症を機に見直しを図った各種イベント・講座等の開催方法に、従来から課題としている新たな参加者の獲得といった側面をどう加えていくかを事業実施にあたり意識したい。					
部等長	2次評価(令和2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
C	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各施設においては感染症対策に万全を期した上でサービス提供を行い、また各種イベント、講座等についても、生涯学習の推進や文化振興を継続して図っていくため、開催方法の見直しを行うことで実施に至った。令和3年度には文化振興計画の策定を予定しており、目指すべき将来像を明確にした上で文化振興に係る施策を展開していくこととしたい。所管施設の管理面では、老朽化した施設の改築等長寿命化を順次図っていく予定としている。特に地区公民館の改築は岩滑公民館を滞りなく行った後、1小学校区1公民館、小学校敷地での建て替え等の方針を踏まえた成岩公民館の改築にとりかかる予定としており、同公民館の改築を今後のモデルとしていけるよう地域や関係機関との調整を密に進めていくこととしたい。					